

# パブリックコメント意見一覧

番号	ご意見のタイトル	ご意見	事務局の考え	計画への反映状況
1	計画素案の評価指標	計画素案の評価指標について、素案P48の分野1の評価指標の表中「適正体重を維持している人の増加」の男性肥満(20～64歳)のベースライン値28.9%に対して、中間目標値21.9%、最終目標値30%未満とありますが、各目標値に誤りはありませんか？	誤りのため、以下のとおり修正します。 (修正前)中間目標21.9%、最終目標30%未満 (修正後)中間目標26.6%、最終目標24.3%	反映する
2	各分野の関連事業	計画素案中、各分野の関連事業については「関係各課と調整中」とのことですので、調整後の計画では、次のように掲載していただきたいです。→現計画の評価で目標値達成は30%のみ、悪化は25%超という状況を踏まえ、実効性のある、または効果を期待できる取組を明示し、次期計画で施策を推進するために見直した取組や追加した取組などがわかるように表示して欲しい。	関連事業には、重点指標との関連が大きく、実効性のある取組や効果を期待できる取組を抜粋して掲載します。また、追加した取組については「新規」とわかるよう表示します。	反映する
3	栄養・食生活	食育推進計画との連動があまり感じられない。評価指標の設定や対応策など、同じにしてもよいのではないかと。	食育推進計画と爛漫計画はそれぞれの根拠法令に基づき、国が策定した計画と整合性をとって策定しています。このため、本計画の栄養・食生活分野においても指標・対応策について食育推進計画とすべて同様にはしていません。しかし、両計画は整合性を図りながら進めていく必要があると考えますので、評価指標は可能な限り統一し、取り組みを進めていきます。	反映する
4	身体活動・運動について	運動習慣のある人の割合が壮年期で最も減っている事に対して、取組方針としていくつか意見案が挙げられていましたが、今日を生きる現代人の運動習慣のある人の減少の理由は、急速なインターネットの発展による携帯離れができない事にあると思うので、まずは若者などに携帯離れをしてもらうための取組方針を出すべきではないかと思えます。今の自分の生活で考えると、携帯をさわる時間が増えているからその分他のことに時間を費やせていないという事が多々あるように感じます。なので、運動習慣のない事の原因は、携帯機器への依存にあると思ひ、それに対する取組をするべきでは無いのかというのが自分の意見になります。	運動習慣が持ちにくい背景には、運動に費やす時間がない事や、運動場所がない、やり方がわからない等、さまざまな要因が考えられます。ネットやゲームへの過度な依存は睡眠不足や運動不足等に繋がりが、健康的な生活リズムの妨げとなる一方で、スマートフォンを持ち歩くだけで活動量を記録できる、動画サイトで体操のやり方を学べる等、運動習慣づくりをサポートする機能も多くあり、上手に活用していくことが必要だと考えます。携帯機器の過度な利用と関連する健康問題について啓発を行うとともに、気軽に参加できる運動イベントの開催等を通じて、余暇活動の選択肢が増えるような働きかけを行います。	今後の取組の参考とする

番号	ご意見のタイトル	ご意見	事務局の考え	計画への反映状況
5	身体活動・運動について	<p>自分は県内のスポーツをよく見に行くのですが、県内にはいくつかのスポーツでチームがあるにもかかわらず静岡市にいると共存している感が少ない気がします。そこで地域と密着を兼ねてクラブに協力してもらいつつ地域の人々がスポーツ、運動に参加する機会を増やす場を作るべきだと考えます。</p> <p>サッカーであれば清水エスパルス、バスケットはベルテックス、本拠地ではないですが、静岡市で公式戦やイベントを行っているバレーボールの東レアローズなどと協力してイベントを開催する等。</p> <p>地域クラブと連携した住民(子供と大人)への体を動かす機会の提供として、上に示したスポーツの3チームに協力してもらい、〇〇体操などの動画を作り、駅のモニターや街のモニターで流す。学校にも送り授業で使ってもらい家庭でも普及してもらおう。その後浸透してきたタイミングを見計らって出演してもらった選手とリアルで体操するイベントを行う。それを年に何度も行う。単発的ではだめで何度も行うことによって運動の習慣化につながり普及にもつながる。数回のイベントの様子を撮影、個人での動画を募集し、体操の動画を作り成果発表とし、流す。SNSに流すことで事業の宣伝にもなり、チームのPRにもなると考えています。</p> <p>体操を家庭や地域で実践してもらおうと子供だけでなく大人も運動をする機会が増えると考えます。小学生の夏休みのラジオ体操のレベルまで普及し、浸透してくれると良いと思います。</p> <p>この事業のキーは体操であり、体操ならだれでも行うことができ、器具を用意する必要もない。老若男女問わず参加できるのが体操であると考えます。また実際のイベントを行うことで知名度ややる気にもつながると思います。</p> <p>体操用の音楽には音楽系の大学生と協力することもできますし、撮影場所としてお店や駿府城公園を使えばPRにもなります。派生の方法や使いようはいくらでもあると考えています。</p> <p>難点としてはスポーツチームの協力が不可欠で協力がなければ知名度のイベントの規模も残念なものになってしまう。また選手にはシーズンがあるため常に参加してもらうことが難しいということがあげられます。</p> <p>これは県内のスポーツチームはたくさんあるのに地域と関係性が薄いのはもったいなと思うし、何よりチームの人が一緒になって運動に参加してくれるイベントがあったらうれしいと思ったので提案させていただきました。</p>	<p>身体を動かす機会の提供や運動習慣づくりのきっかけとして、知名度のあるスポーツチームとの連携は多くの市民への周知につながると考えています。</p> <p>本市でも「しぞ〜かでん伝体操」のDVDを清水エスパルスの協力のもと制作し、S型デイサービス等様々な場所で活用されています。</p> <p>今後も効果的な周知啓発ができるよう、連携内容を検討していきたいと考えています。</p>	<p>今後の取組の参考とする</p>

番号	ご意見のタイトル	ご意見	事務局の考え	計画への反映状況
6	身体活動・運動について	<p>学生の長期休暇時には、学生と一緒にラジオ体操をして交流を試みるのもよいと考えました。若い人といると「元気をもらえる」といったことをご老人の方から聞いたこともあります。交流をすることにより学生はコミュニケーション能力が育まれご老人は運動するといった相互にとってメリットがあることを実現できるのではないかと考えました。</p>	<p>本市では、ラジオ体操を通して市民の健康保持促進を図るとともに、参加者の交流を深め、今後の継続的な実施に繋げるために、夏休み期間中にラジオ体操祭を開催しています。この事業は「市民スポーツ大会の開催」に含まれており、今後も継続して実施する予定です。「学生と一緒にラジオ体操をして交流を試みる」とのいただいたご意見については、現在も地域により小学生が夏休み期間にラジオ体操会場に参加しているところがありますので、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>	<p>今後の取組の参考とする</p>

番号	ご意見のタイトル	ご意見	事務局の考え	計画への反映状況
7	身体活動・運動について	中国の公園では採用されている健康器具を公園に設置してみるのはいかがでしょうかと考えました。他にも公園に卓球台があるなど気軽に体を動かすことができる環境にするべきではないかと思いました。こういった事を取り付けることにより市民の健康の意識が高まるのではないかと思います。	新たな公園を建設する際には、近隣住民の皆様にご参加いただくワークショップ等を開催し、公園内の施設についてご意見をうかがい、設置について決定しています。 既に供用している公園については、地元自治会などのご意見ご要望により検討していきます。	今後の取組の参考とする
8	次世代につながる健康	年齢と妊娠率、染色体異常発生率を交えた家族構成構築を踏まえたライフプラン教育が必要ではないでしょうか。 無計画、無知識で日々を過ごす独身者が多いのでは？	「性に関する正しい知識の普及・啓発」は次世代につながる健康分野の取組方針です。関連事業の中で、ライフプランを考える機会を持ち、妊娠についての正しい知識が得られるよう、関係各課と連携し取組を進めていきます。	今後の取組の参考とする
9	タバコ・酒・薬物	受動喫煙についての知識を広める必要があると思った。比較的若い世代は、小さい頃からの教育のおかげで知識を保有しているひが多いが、上の世代になって来ると知識を持っている人が少なく感じる。	受動喫煙については、幅広い世代に対して知識の普及・啓発ができるようイベントや関連事業等あらゆる機会を捉えPRを実施していきます。	今後の取組の参考とする
10	欠食	欠食率の増加に対しては、資金援助や無料児童食堂増設で対処すべきだ。	民間主体の取組として、地域の居場所となる「子ども食堂」の活動が市内にも広がりつつあります。活動内容は必ずしも朝食の提供に限りませんが、子どもに無料又は安価で食事を提供しています。市や県等では、活動団体に対する運営費助成等を行っており、市内の子ども食堂数は増加傾向にあります。 朝食欠食率の改善のためには、子どものときからの生活リズムの確立や共食の推進を含めた食育の推進が必要と考えています。食育推進計画とも整合性をとり計画を推進していきたいと考えています。	今後の取組の参考とする
11	たばこについて	青年がタバコを余りにも多く吸っているの、たばこの課税強化や規制をするなどで対策すべきだ。	成人の喫煙率は近年減少傾向にあり、課税を含むタバコの価格上昇のタイミングで喫煙率が下がる傾向があります。タバコによる健康被害やリスクについてはエビデンスがあり、タバコを吸わない選択をするように子どものときからの情報発信や健康教育を今後も継続実施していきます。	今後の取組の参考とする

番号	ご意見のタイトル	ご意見	事務局の考え	計画への反映状況
12	喫煙環境整備について	<p>望まない受動喫煙のため、現在の喫煙所の量は適正であるとは思えない。実際、路上での喫煙により静岡周辺ではポイ捨てが散見されている。40億円近くのたばこ税収がある中、喫煙所は適正化されているとは思えない。喫煙禁止区域策定がされておりますが、喫煙箇所が減ることはポイ捨ての増加に加え、税収の減少につながり、それは結果的に一般市民への負担増加につながるのではないのでしょうか。</p> <p>喫煙所の確保と分煙の徹底により喫煙者と非喫煙者が共存できることが望ましいと考えております。</p> <p>適正な喫煙所の確保、また喫煙者へのマナー向上を促すことが重要ではないのでしょうか。</p>		
13	たばこについて	<p>「受動喫煙防止の環境整備の推進」について、この方針は大変賛成である。しかし、駅周りを中心に喫煙所が少ないのではないかと。喫煙所がないことで、喫煙者のマナー(ポイ捨て、路上喫煙)も悪くなるはずだ。「誰一人取り残さない静岡市」を掲げるのであれば、喫煙者に対して多少の配慮はあって然るべきではないだろうか。故に、たばこの税収等を活かして優先的に喫煙環境の整備に充てていただきたい。</p> <p>また重点課題の「20歳以上の喫煙率の減少」については異議を唱えたい。たばこは法律で認められた嗜好品であり、個人の判断を尊重すべきである。たばこのリスクは承知で喫煙を楽しんでいる市民もいるのだ。そもそも「健康」の定義は何なのか。身体だけ良好であれば健康なのだろうか。昨今、急速に社会が進んでいく中で精神面の健康が削がれていると考える。それを補うものは、趣味・アルコール・たばこなど人それぞれである。健康は身体だけでなく、精神面についても深く加味すべきである。たばこに救われている人がいることも忘れないでいただきたい。</p>	<p>喫煙の健康への悪影響については多くのエビデンスがあることから、これらを積極的に周知・啓発し、タバコをやめたいと思う人を増やす取組を継続するとともに、タバコをやめたい人に対する禁煙支援を引き続き実施していきます。</p> <p>受動喫煙についても、喫煙と同様に健康被害への悪影響についてエビデンスがあることから、改正健康増進法の趣旨に則って、受動喫煙防止のための環境整備に引き続き取り組んでいきます。</p>	今後の取組の参考とする
14	たばこについて	<p>喫煙者です。</p> <p>受動喫煙防止の環境整備、とても良いと考えます。たばこ税も使って整備して欲しいです。</p> <p>喫煙所で吸えば、非喫煙者にも迷惑がかかりづらいと思いますが、市内は吸う場所が少なくて困ってます。</p>		

番号	ご意見のタイトル	ご意見	事務局の考え	計画への反映状況
15	その他	<p>健康爛漫計画(第2次)最終評価から第3次評価指標まで高齢化、夫婦共働きや核家族の増加に伴い、第2次の最終評価のD判定が多くなるのは仕方がないことだと思います。</p> <p>近年のコロナ禍により生活状況も変わってきており、全世代において身体とこころの健康改善に重点を置くところが良いと思いました。</p>	<p>次期計画でも中間評価・最終評価で指標について確認し見直しを実施していきます。</p> <p>今後も全世代において健康増進に取り組んでいきます。</p>	その他